

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会の実施について(報告)

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会規程第3条第1項の規定に基づき、令和2年度第1回和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時 令和2年10月6日(火) 15時～17時
2. 場 所 和歌山県立医科大学高度医療人育成センター5階 大研修室
(オンライン開催)
3. 出席委員 委員長 山口 悦子(大阪市立大学)
副委員長 中川 利彦(パークアベニュー法律事務所)
委員 石井 浩子(NPO 法人いきいき和歌山がんサポート)
4. 院内出席者 病院長・管理者 山上 裕機
医療安全管理責任者・副院長 中尾 直之
医療安全推進部長 水本 一弘
医薬品安全管理責任者・薬剤部長 松原 和夫
医療機器安全管理責任者・臨床工学センター長 重松 隆
臨床工学センター工学技士長 中村 一貴
事務局次長(病院担当) 山中 宏夫
感染制御部 部長 西尾真智子
感染制御部 病院教授 小泉 祐介
感染制御部 主査 小島 光恵
感染制御部 副主査 則村 大輔
5. 議事次第 (1) 感染対策について
(2) インフォームド・コンセントについて

6. 監査結果

(1) 感染対策について

- ・ 検査や治療が必要な患者にとって、安心・安全な場所であると感じた。ITの活用がまだこれからということだったので、これから進めていっていただきたい。
- ・ 安心な病院づくりということで、緻密に体制を整えていると感じた。より良い文化をつくるためには職員のしつけが重要だと思うが、丁寧に週1回行っている環境ラウンドが非常に有用になると思うので、ぜひこれからも頑張っていただきたい。
- ・ 改善点ではないが、これから冬に向けて、職員が体調の悪い時に安心してすぐに報告できる体制をよりいっそう整えていただけたら、職員にも働きやすい職場になると思う。

(2) インフォームド・コンセントについて

- ・ テンプレートやガイドラインの運用基準を作成したり、説明文書の統一化を図るなどシステム化されており、病院全体がインフォームドコンセントの実施に向けて日々努力していてさすがだなと思った。ただまだ完全ではなく、分かりにくい説明文書もあるので、引き続いて変えていっていただきたい。
- ・ 臨床倫理コンサルテーションチームで対応するなど、患者の理解度や同意能力についても十分に気を配っていることに非常に感心した。実際の場面のチェックについては引き続き対応を考えていただきたい。
- ・ テンプレートで対策をするのと同時にデータも取れるというのはすばらしい工夫だと思う。
- ・ 自己決定権について丁寧に書かれていること、また連絡先が最後に書いてある点について、親切的な病院づくりを日頃からしている和医大らしい説明文書だと思い、感動した。
- ・ より患者ファーストな医療が提供できるように、また患者や家族の医療への参加を促進するという意味でも、今後は看護師ほか医師以外の職種の同席率向上に努めていただきたい。
- ・ 働き方改革についても、大きなチャレンジだと思うが、和歌山スタイルを作ってください、他の都道府県の範となっていただきたい。

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会
委員長 山口悦子